

3年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせや、読書が好きで、物語の内容を読み取ったり、登場人物の心情を想像したりすることに意欲的である。 ・新出漢字の習得に意欲的に取り組める。 ・物語の続きを考えたり、俳句を作ったりするなど、思いを文章にして表現することに意欲的な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えや思いを文章にまとめる際に、「初め」「中」「終わり」の構成を意識して書くこと。 ◎漢字の定着に時間がかかること。また、前学年の漢字が身に付いていない児童も多い。 ・一度で内容を全て理解したり、話の要点を聞き取ったりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く学習過程で段落構成を考えさせ、文章構成メモを作らせた上で文章を書かせるようにする（思考の可視化）。 ・漢字定着のために、毎日の宿題にしっかりと取り組ませ、文を書く際には習った漢字は積極的に使用していくことを意識させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算練習やドリルなどの課題に対して意欲的に取り組む児童が多い。 ・基礎的な計算技能を身に付けている児童が多い。 ・問題の解き方を考える際、解法を考え、図や式で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎文章問題で質問に正対する答え方で、かつ正しい単位を付けて答える力が弱い。 ・問題の解き方を文章（言葉）で説明する力が弱い。 ・かけ算九九が定着していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題を扱う時、問題文を音読して問われた内容を丁寧に確認する。 ・解き方を一人ひとり考えた後、説明の仕方が上手な児童を紹介するなど例示をしていく。 ・導入で九九フラッシュを行ったり、隙間時間に九九を言わせたりする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りだけではなく、区内の様子に興味をもって授業に取り組んでいる。 ・区内の地図から問われていることを読み取る際に、地図記号や八方位などは概ね理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から問われていることを見付け出して表現する力が弱いこと。 ◎自分の考えを表現する際に、根拠を示して分かりやすく文章にする力が不十分であること。 ・区内の各地域の特徴や特色の理解が不十分であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料などから問われていることを読み取る機会を多くつくり、ノートやワークシートに記録する習慣を身に付けさせる。 ・自分の意見に必ず根拠をもって発言できるように、話型やワークシートを用いるなどして指導していく。 ・区内の特徴的な建造物や名所、行事などと関連付けながら指導する。

理科	<ul style="list-style-type: none"> 植物や昆虫の観察を意欲的に行っている。 観察や実験の過程で変化したことや、結果から分かったことを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験を重ね、実験・観察の技能の向上を図ること。 ◎実験や観察で分かったことを、根拠を明らかにして考えたり、文章に表したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの実験や体験の活動を取り入れるとともに、一人ひとりが実験や観察に携われるような方法を工夫する。 問題に対する予想や見通しを立てて、実験や観察に取り組ませる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーを演奏したり、器楽合奏をしたりすることに意欲的に取り組む児童が多い。 曲想の変化や特徴を捉えて、言語で伝えたり音楽で表現したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の演奏する楽器の音を聴きながら、よりよい音を目指して演奏の仕方を工夫しようとする力が弱い。 ◎音楽の特徴を感じ取り、体で表現することに慣れていないため、消極的になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱だけでなく、鑑賞の授業や音楽づくりの活動を通して、旋律の特徴や曲の雰囲気を感じ取る機会を取り入れる。 表現しようとしている児童を認めたり褒めたりして自信をもたせる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 話をよく聞き、楽しく活動に取り組める児童が多い。 新しい表現や材料などに興味をもち、積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手先の不器用さが見られたり、自分の思いを形にするのに時間がかかったりする児童がいる。 自分の表したい思いが広がるあまり、題材のねらいを捉えるのが難しい児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作に戸惑っている児童には個別で指導・支援をし、肯定的な声掛けをして意欲を高める。 視覚的に分かりやすい導入になるように、発問や提示資料を精選する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> どの領域にも意欲的に取り組んでいる姿が見られる。 新しい技能の習得に積極的である。 約束を守って、安全に運動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎何を意識すれば、うまく身に付けられるのかを考えながら運動をすること。 運動技能の習得に差が見られること。 体力が不十分であること。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む運動のコツがつかめるような学習資料を提示したり、動画をとって動きを確認する機会を多く設けたりする。 運動の楽しさを感じられるように取り組ませることで課題を解決できるようにする。 休み時間なども体力づくりの場として活用できるような遊びを提案するなど、運動する機会を増やして体力づくりを意識させる。